

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
<b>清熱剤 清臟腑熱剤 22</b>		
<p>おうれんおうごんとう 黄連黄芩湯</p>	清宣胆経鬱熱	<p>黄連 6g・黄芩 6g・麝金 4.5g・淡豆豉 6g 水煎し分二で服用する。</p>
温病条弁	<p>主治は、熱鬱胆経の発熱、口渴、口が苦い、脇痛、乾嘔、心煩、舌苔が黄、脈が弦数などの症候。熱邪が胆経を阻滯し、胆火熾盛になるので発熱、口が苦い、脇痛、舌苔が黄、脈が弦数などを呈し、傷津による口渴、胃への横逆による乾嘔、心の上擾による焦燥（心煩）などを伴っている。 苦寒の黄連・黄芩で胆熱を直清し、辛寒の麝金で少陽を疏通して鬱熱を發し、淡豆豉で透熱達表し、清泄、透發により胆熱を除く。 傷陰を伴うときは玄参・白芍・甘草などを配合するのがよい。</p>	